

NEXT INFO ⑤

2021 年 6 月本番に向けて

核となるセミナープログラムを先行配信!!

スタジオ撮影のさらなる拡充に向けた新提案

必聴! PHOTONEXT オンライン

12月23日(水) 午後
に開催いたします「第4
回 PHOTONEXT オン
ライン」は、革新的な「スタジオ
施工」をテーマとした2本立てで
お送りいたします。

**「共有」や「体験」が重視
される時代にスタジオの
価値をさらに高める新提案!**

メインセミナーは、アケボノス
スタジオ・フォトスタジオ Mimi 代
表の伊藤彰氏と、フォトスタジオ
Muu・goophy 代表の才原真喜
氏が中心となって結成された AZ
antiques japan に よ
るプログラムです。アン
ティークのレンタル・販
売や空間施工、フォトス
タジオおよびウェディング会場の
コンサルティングなど幅広く事業
展開。フォトスタジオをはじめと



AZ antiques japan の伊藤彰氏 (上) と才原真喜氏。



を安定的に日本のフォトスタジオ
へ供給しています。

**所有よりも「共有」や
「体験」が重視される時代**

フォトスタジオを運営してきた
伊藤氏と才原氏が、これまで培っ
た経験やセンスに基づき、ヨー
ロッパで直接買い付けたアン
ティークをフォトグラファー視点
で提案。光が当たったときの陰影
の出方や、室内で自然光を受け
た場合の色彩、人物と一緒にフ
レーミングする際のフォルムの美
しさなど、フォトグラファーなら
ではの視点が存分に発揮されて
います。

仕入れの段階からスタジオでの
配置方法や、光が当たったときの
質感、影の出方など、写真的な
要素を考慮したうえで買い付け
を行っているため、一般的なインテ

する店舗のさらなる活性化に向
けて、月々にわずかな負担でアン
ティークをレンタルできる革新的
な仕組みを提供しています。

**本格アンティーク品を低コス
トでレンタル可能な仕組み**

たとえばレンタル総額が 100
万円の場合、毎月の支払いはレン
タル総額の 2.8%、月額 28,000

円で提供 (初期費用は 15 万円)。
また 12 ヶ月ごとに 1 ヶ月間の無
料期間を設けて、レンタルを続行
するか、あるいは別のインテリア
に変えるかを十分に検討すること
ができます。

フランス、イギリス、ベルギー、
スペインなど、ヨーロッパ各地の
アンティーク市場に対する深い
理解と経験、さらには交渉力が、
圧倒的なボリュームかつ良質な品





伊藤彰氏と才原喜氏が中心になって手がけたフォトスタジオ「Merci」（写真は名古屋・星ヶ丘のスタジオ内観）

リアデザイナーなどが提案する施策で、見た目は良くても実際にスタジオへ配置して使おうとすると、思いのほか撮りにくい、といったミスマッチが起こらないのです。

360 度どこから見ても絵になるフォトスタジオ「Merci」

それを具現化したのが、伊藤氏と才原氏が中心となり自ら作り上げた「Merci」。2020 年 4 月、1 号店を名古屋・星ヶ丘にオープンして以来、地元のみならず県外からの顧客も多く訪れ、昨秋には 2 号店を滋賀・大津市にオープンしました。引き続き 2021 年も出店を計画しているそうです。

館内にあるテーブルや椅子等の家具のほか、窓枠やドア、小物等の什器もすべて本物のアンティークを使用。その上質な素材や優雅なフォルム、贅沢な構造など、時を越えてきたアイテムには人を魅了する不思議な引力があり、さらに圧倒的な存在感を放つドライフラワーにより、非日常の空間か

ら生まれる感動体験ができるようになっています。

アンティークによる圧倒的な差別化に耳を傾けよ！

アンティークは高額なものも多く、海外での買い付けや倉庫保管、メンテナンス、修繕・加工などといったコストが転嫁されます。フォトスタジオの場合、物量が大切になってくるため、セットを取り揃えとなると、かなりの投資が必要となるでしょう。

しかし、レンタルであれば事情も変わってきます。そしてメリットも多数。すでに数々の成功事例も出ています。新フォトスタジオの創造に向けて、彼らの熱き取り組みをたっぷりと吸収しましょう。

オリジナリティあふれるスタジオ施工へ！ 自立型・L 型 4 面パネル 「eninaru（エニナル）」

台紙やアルバムを中心とした写

真商品を取り扱う竹野株式会社、いまから約 5 年前よりスタジオ施工関連の提案を始めたのは、「スタジオをアミューズメントパークのような楽しく、感動あふれる空間を来館されたお客様に提供していただくとともに、撮影カット数のさらなるアップへとつなげていただくため」でした。バック紙とは違った「絵になる」スタジオ撮影とともに、そのスタジオにマッチしたアルバムを中心とした商品をトータルで提供すべく、2019 年には「eninaru（エニナル）」というブランドを立ち上げ、大々的に展開しています。

女性 1 人でも手軽に取り扱える可動式背景パネル

大がかりな工事を不要とした自立型・L 型 4 面パネルの「eninaru」は、折りたたみが可能で、納品時はコンパクトになる木工背景（可動式背景パネル）です。表面は成人振袖用、裏面は子ども、ファミリー用などといっ

たように、撮影に応じて背景パネルを組み合わせ使用できます（一部表裏固定式あり）。職人がモルタルで手がけた本格的なパネルとなっているのが特徴です。

「フォトスタジオのために」をテーマとしたソリューション提案

バック紙とは違った本格的な立体背景を手軽に取り入れられることから、一般的な写真館のほか、呉服店をはじめさまざまな業種からの引き合いもあり、昨今ではフリーランスとして活動するフォトグラファーからの受注も増えています。

写真台紙やアルバムも、eninaru の活用とともにオリジナリティあふれるデザイン商品を提案するなど、今後の同社のソリューションはフォトスタジオの展開において非常に心強い味方となります。その具体的な内容は必聴です。



12 月 23 日（水）
13:00 ~
Zoom ライブ配信

詳細および参加お申し込みは

<https://photonextonline.mystrikingly.com>



竹野が提案する
「eninaru」

《特別コラム》効果的なブース出展と集客に向けて



2020年11月26日に開催いたしました「第3回 PHOTONEXT オンライン」において各種セミナーを行う前に、「PHOTONEXT2021 開催概要説明会」を実施。「新時代フォトビジネスへ!」をテーマに開催する本フェアの概要や新型コロナウイルス対策などについて発表しました。関連資料を公式ホームページよりPDFにてダウンロード可能となっているので、ぜひご覧ください。

概要説明後は「PHOTONEXT オンライン」共同主催であるA_Creationとの特別セッションを実施。このセッションでは、主に「PHOTONEXTの印象」「来場者がPHOTONEXTに求めているもの」「効果的なブース出展と集客策」などをテーマに挙げました。

PHOTONEXTの前身である

スタジオ写真フェア(2004～2009年)から、来場者やセミナー講師として本フェアに関わってきたA_Creation代表・有賀廉尚氏は、まず「PHOTONEXTの印象」について、「フォトグラファーをはじめ女性の来場者」「ここ数年はスタジオ内装デザインの出展」「フォトスタジオが自社の経験から、フォトスタジオの望むような商品やサービスを出展社の立場で提供」といった点が急増している傾向について触れました。

「来場者が求めるもの」については、「業務上で求めるもの」と「個人的に求めるもの」の2つに分けて説明。前者は「活躍しているフォトグラファーの各種セミナー」および「最新情報の収集」、後者は「サークル活動や同窓会などの懇親会」「アウトレットなど、ここでしかできない特別なショッピング」といったように振

り分けました。

「効果的なブース出展と集客策」について、まずブースづくりにおいては「1小間でも華やかなブースには人が溢れ返る傾向にあります」とし、具体例としては「ブースの仕切りパネルに壁紙を貼り、個性を出すだけでも回遊客を引き込みやすくなります」と指摘。

また「商品」という視点では、①人気フォトグラファーとのコラボレーション商品の開発(その人気にあやかって、当該フォトグラファーとともにブースへの集客を行い商品をPR)、②新規の名簿獲得にあたってはブース内セミナーの集客力を活かす(要コロナ対策)、③ショッピングコーナー(即売会)を設けて集客力を高める(要コロナ対策)、④フォトコンテストの開催を通じてフォトグラファーとの接触機会を増やす、などといった点が効果的とし

ました。

さらに「情報発信」では、「PHOTONEXT開催前に、より多くの方にどのような新商品やサービスが発表されるのかを発信し、ブースで実物をご覧いただくことで成約が促進されます」と説明。それにあたっては、①自社努力による情報発信(YouTube配信、オンラインセミナー、SNSを活用)、②他者を活用した情報発信、を挙げました。このうちの後者については「PHOTONEXTオンライン」の活用を呼びかけました。

PHOTONEXTが初見ではなく、「開催期間中に実際の商品やサービスを見てもらって商談を成立させる」という目標を掲げ、その作戦を立てることが有効です。その具体的な手法や事例について、詳しく聞きたい方は主催者までご連絡ください。



NEXT INFO

次号予告

みなでいこうフォトネクスト!



《PHOTONEXT 情報も満載》

撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオ NOW」。2021 年以降も PHOTONEXT に関する情報を盛り込みながら発行いたします（写真は 2020 年 12 月号表紙）。

PHOTO NEXT 2021

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

2021 年 6 月 15 日 (火) ~ 16 日 (水)

パシフィコ横浜 AB ホール

www.photonext.jp

主催：株式会社プロメディア
主催団体：写真感光材料工業会
日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会
特別協賛：日本営業写真機材協会

注目ポイントを一挙公開!!

- ①会場レイアウトの基本コンセプト
- ②新しい企画イベントの方向性
- ③出展関連情報

最新情報を随時お送りいたします!

フォトネクスト公式 LINE アカウント



セミナーイベント配信プログラム一挙公開!

PHOTONEXT オンライン
YouTube チャンネル

「PHOTONEXT オンライン」協賛のお願い

・PHOTONEXT 来場対象者へ最新情報をお届けするオンライン企画に、パネリストとして参加しませんか? 「PHOTONEXT オンライン」は、自社製品やサービスをアピールいただく絶好の機会です。オンライン特典や今後実施予定のキャンペーンに加え、2021 年にブース出展をご検討いただいておりますら、出展内容とともに PR する場としてご利用いただけます。

・本イベントは事前登録制で、参加者には申し込み時に名前やメールアドレス等を記載いただきます。その情報を一覧にしてお渡しいたしますので、今後の販促にご利用いただけます。また、本イベントの開催中にチャットで寄せられた内容もテキストデータにてご提供いたしますので、本番中に対応できない場合でも、終了後に参加者へコンタクトを取ることができます。

・当日のライブ内容は収録し、参加者へお届けするとともに、当日ご覧になれなかった方々のために、PHOTONEXT 公式ホームページおよび SNS にて、「PHOTONEXT オンライン YouTube チャンネル」をご案内。またプロメディア発行の月刊誌「スタジオ NOW」にも記事掲載させていただきますので、終了後も広くアピールすることが可能です。

・出演時間は 1 社様につき 30 分間、出演料は 5 万円 (税別)。詳細および申し込みは、info@photonext.jp (担当: 深谷) まで。

オンラインによる情報発信は継続して実施!
皆様の斬新なアイデアお待ちしております!!

NEXT INFO ⑤

● 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。

● 本号は第 4 回 PHOTONEXT オンラインのご案内をメインに構成。毎回、PHOTONEXT オンラインには 200 名以上の参加登録があり、YouTube での

再生回数も 1,000 回を超えるなど、多くの方から注目を集めております。

● PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで (TEL: 03-6302-0801、FAX: 03-6302-0802、メール: info@photonext.jp)。